

EGAS 2015 に参加して
 関連基礎科学系博士課程4年 田中香津生（田中香津生）

「博士課程学生のための国際研究集会渡航助成」の支援を受けて 2015 年 8 月にラトビアで行われた EGAS 2015 に参加しました。この会議は EPS（ヨーロッパ物理学会）による原子および分子の様々な研究結果を報告、議論することを目的としたもので、毎年ヨーロッパで開かれています。私は本会議において、現在計画している MuSEUM という実験の準備状況とビームを用いた試験の結果についてポスター発表を行いました。

MuSEUM 実験はミュオニウムというミュオンと電子の束縛状態の超微細構造分裂のエネルギー差を測る実験で、東海村の J-PARC での測定を計画しています。本会議では実験系だけでなく理論系の研究者も数多く参加されており、この実験によって理論にどのような影響を与えられるかについて議論することができました。また、マイクロ波やレーザーを用いた原子分子の分光実験に関する様々な口頭発表を聞くことができ、知見を深めることができました。

ラトビアの首都リガは旧市街全体が世界遺産に指定されており、大変景観に優れた街です。第一言語はラトビア語ですが、市街地のほとんどである程度英語が通じるためとくにトラブルもなく会議期間を過ごすことができました。Excursion では郊外のルンダーレ宮殿という非常に美しい宮殿を訪れました。宮殿はロシアのバロック後期の建築様式を取り入れ、その宮殿の前には美しいフランス庭園が広がっています。この様々な文化を取り入れた歴史がバルト地方特有の雰囲気として感じるすることができました。



聖ペテロ教会の展望台からみたリガの旧市街地